

小説や映画に登場する「ロシアンルーレット」は、回転式拳銃に1発だけ弾を込め、生き残りを賭けるスリルあるゲームです。最近では、数個のシュークリームのうち一つにわさびを入れた「食べるロシアンルーレット」をテレビで見ることがある人もいます。

ロシアンルーレットのポイントは、危険な一つに当たるかもしれないという恐怖心。恐怖心により全てが疑わしくなり、全てが信じられなくなります。一つでもわさ

⑧ 真つすぐな人が信頼される



び入りがあると聞くだけで、全てのシュークリームが信じられなくなります。逆に「わさび入りは一つもない」と聞くと恐怖心は一切なくなり、安心して好きなだけ食べることが出来ます。



人間関係も同じです。一度でもうそをついたことがある人、裏切られたことがある人は心から信用

できなくなります。一度でも傷つける言葉や行動をしてきた人との関わりには恐怖心が芽生えます。実害がなくても全てが疑わしく安心できなくなります。

私は芸人時代、先輩に失礼がないように、嫌われないようにと常に気を張っていました。結果、先輩に怒られることはありませんでした。特に気に入られることもありませんでした。しかし、大きく気に入られるのは、失敗や粗相をして先輩に怒られてばかりいる



私には芸人時代、先輩に失礼がないように、嫌われないようにと常に気を張っていました。結果、先輩に怒られることはありませんでした。特に気に入られることもありませんでした。しかし、大きく気に入られるのは、失敗や粗相をして先輩に怒られてばかりいる

教育含めた人間関係の極意

場からすれば、本音が見えない人間よりも、多少の失敗や失礼があっても純粋に関わろうとする人間の方が、疑念を持たずに心を許し、安心出来る存在だったのだと思います。



あれから25年がたち、周囲は後輩ばかりになりました。職場でアドバイスを求めても、まだまだ未熟なはずなのに「いいんじゃないですか」と肯定されることが増え、立場や年齢が上がるほど本音で指摘してくれる人が少なくなっていると感じます。

先日、同窓会がありました。久しぶりの再会で大いに盛り上がりました。そこで悩み相談をする、言葉は粗く、忸怩なくスバリと言われ、次々とアドバイスをもらいました。ネガティブにとらえる心配慮のない物言いに聞かれますが、裏表がなく「私の為に言ってくれている」と理解しているのでとても心地よく、素直にアドバイスを受け入れることが出来ました。今後の人生の方向性を考える貴重な時間、そして、何よりも楽しく幸せな時間でした。

またまた未熟ですが育児や教育も含めた人間関係の極意が少し見えてきたのかもしれません。